

## 令和4年度「市長と語り合う会」について（豊川地区）

### 1 出席者状況

開催日（曜日）	会場	時間	出席人数		
			男	女	計
令和4年 7月4日（月）	豊川公民館	19:00～20:00	13	2	15

- 市側出席者  
市長、副市長、政策企画局長、総務部長、秘書課長

### 2 会の概要

- 開 会（秘書課長）
  - ・ 会の趣旨説明
  - ・ 出席者紹介
- あいさつと市政運営の説明（山本市長）

#### 1. 令和4年度施政方針「危機を機会に転じる積極思考」

##### ・脱炭素社会の実現に向けた取組

気候変動、地球温暖化は大きな問題であり、国際社会においても、地球温暖化を和らげるためその原因となる二酸化炭素等の温室効果ガスの発生を少なくする国際的な取り決めが行われている。市としても、これまで公共施設の照明のLED化等行ってきたが、本年度、公用車1台を電気自動車に替え、効果等について検証したいと考えており、様々な取り組みの中で温暖化防止の取組みを即戦して行っていきたい。

##### ・行政サービスの効率化・最適化を図る「デジタル・トランスフォーメーション」

コロナ禍において、WEB会議等人と人が接しないでデジタルを使って物事を完結させるデジタル・トランスフォーメーションというものが進んでいる。行政としても、市民サービスの利便性の向上のためデジタル化を進めていきたい。具体的には、必要な手続きが1か所で済むような仕組みや、今は申請書を手書きで書いていただいているが、それを職員が聞き取ってデータを入力し必要な書類を整備する書かない窓口等、試行的に進めていきたい。

##### ・益田市型中高一貫教育の実現に向けた取組

益田市型中高一貫教育というのは、市内での子育て、学校教育、これらを一つの流れの中で行ってこうというものである。ここ豊川地区では、地域の方々に学校の様々な運営に関わっていただいております、また子ども達も地域のグループに関わることで、地域に愛着を持ち将来益田で活躍しようという機運が高まっている。こうした地区を増やし、またこうした流れを中学校、高校の6年間でさらに一体の流れにし、地元に着した形で進めていきたい。また、高校卒業後も県内への就職を推進している大学や高等教育機関と連携して、益田市へ帰ってきていただくような流れにしていきたい。

##### ・交通インフラ及び都市基盤整備

最も重要な交通インフラは、高速道路と萩石見空港の空の便である。高速道路については、三隅益田道路の工事が進んでおり、令和7年度に全線開通する事が示されている。益田萩間の益田西道路についても、事業が進み一部の地域で住民説明会が開催された。

益田道路について、久城から高津までの間は水害に弱い地域であるため、本来は高架道路や橋として繋がる予定であり、当区間の事業進捗も国へ要望している。高速道路の整備を進め市の産業振興につなげていきたい。

空港については、東京便が2往復運航に戻り、コロナが十分に収束していない状況であるが、経済を回す観点からも利用促進を行っていきたい。

都市基盤整備としては、益田道路の南側で土地区画整理事業を国、県の事業を活用し今後進めていきたい。あわせて同地区は、災害に脆弱であるため一時避難場所となるような防災公園も整備していきたい。

#### ・ワクチン接種

ワクチン接種は、完全な予防効果があるわけではないが、万が一感染した場合の重症化を防ぐ効果があるとされている。現在3回目接種を進めており、全体で約75%の方が終えているが100%に近づきたい。また4回目接種についても、対象は60歳以上の方か、重症化しやすい基礎疾患のある方とされているが、コロナ終息の最も大きな手段なので、市民の皆様に接種を呼びかけたい。

## 2. 市制施行70周年

昭和27年に、それまでの町、村が合併して初めて益田市となってから今年がちょうど70周年の年になる。11月3日に70周年記念式典、併せて記念講演を美都ふれあいホールで開催する。

その他にも、市内で行われる様々な事業に70周年記念事業という冠をつけて行っていただくこととしている。

70周年をお祝いする目的は、これまで市の発展に貢献していただいた方々への感謝の気持ちを表すことと、これからも益田市が発展していけるように市民の心を一つにして機運を高めていくことである。このように大きな節目の年であるので、盛り上げていきたいと考えている。

### ○ 意見交換

質問項目は以下のとおり。詳細は別紙のとおり。

- ① 除草業務委託について
- ② 公用車について
- ③ アイルランド交流事業について
- ④ 過疎地域について
- ⑤ 道路の補修について
- ⑥ 市議会議員について
- ⑦ 道路の維持について

### ○ 閉会（秘書課長）

# 令和4年度「市長と語り合う会」

〔会場 豊川公民館 開催日時：令和4年7月4日（月）19:00～20:00〕

要 望 事 項 等	回 答
<p>① 除草業務委託について 市道等除草業務委託に伴い、契約等手続きを行うにあたり何回も市役所に足を運んだ。また豊川地区は広範囲であるため、写真管理を行うにもかなり時間、手間がかかる。手続きにおいて、写真の省略等簡略化できないか。</p>	<p>① 除草業務については、作業を行っていただいた事を何らかの形で証明して頂かないといけませんので、手続きがなくなることは困難だが、少しでも除草業務以外の負担が少なくなるような方法を考えていきたい。</p>
<p>② 公用車について 市役所に行った際、誰も乗っていない公用車のエンジンが長時間かけっぱなしにしているのを見たことがあるが、いかがなものか。</p>	<p>② 公用車の燃料の無駄遣いではいけないので、職員への注意喚起を徹底したい。</p>
<p>③ アイルランド交流事業について 令和4年度当初予算でアイルランド交流経費1,181万4千円を計上しているが、その中に訪問経費366万円、姉妹都市締結業務コンサル料485万円も含まれている。今必要なことなのか。アイルランドに行って何をするのか。市内においても、ひとり親等必死に生活している方がいる。市民の理解は得られないと考える。必要な人に必要なお金が回るような政策にしていきたい。</p>	<p>③ アイルランドとの交流については、東京オリンピック・パラリンピックのキャンプ地誘致を契機に新たな国際関係の構築を考えており、アイルランド関係者の協力も得られている。本年度実際に渡航するかは未定で、進捗状況により時期を逃さず渡航できるよう予算措置しているところであり、市民の方の同行も考えている。コンサル料については、相手先の選定等について専門の方に協力していただく必要がある。また、市民への啓発等行う経費として計上している。</p> <p>交流によって国際的な公用語である英語でコミュニケーションできる人材を増やし将来も益田市で活躍しようと思ってもらえるよう行っていきたい。ひとり親への支援等さまざまな必要な事業はあるが、交流についても住民の利益になる事業であると考えている。</p>
<p>④ 過疎地域について ホームページに「益田市過疎地域持続的発展計画及び過疎地域を対象とした税制措置等」とあるが、どういうものか説明してほしい。また、市内で過疎地域に指定されている地域はどこなのか。</p>	<p>④ 昭和28年位をピークに人口減少が続く中、地域が維持できるよう、町の魅力を高めていくこと、また人口を維持していくため必要な施策についての計画である。税制措置については、過疎地域に進出した企業に対し優遇措置を行い、その軽減分を国が交付金で補填する制度で、人口減少の要因になっている若者の流出に関する対策である。現在当市は、全域が過疎地域に指定されている。</p>
<p>⑤ 道路の補修について 国道か市道のどちらの管理になるかわからないが、コンクリート基礎がずれている所がある。</p>	<p>⑤ 担当部署で現地を確認する。</p>
<p>⑥ 市議会議員について 自分の支援する地区以外はあまり行かないと聞いたことがあるが、いかがなものか。</p>	<p>⑥ 市全体のことを考慮しご判断いただきたい。</p>

<p>⑦ 道路の維持について 案内看板、草刈り、落石等現地を確認し適切に 処理してほしい。</p>	<p>⑦ 優先カ所から対応していきたいので、情報を いただきたい。</p>
---	---